

尿検査のお知らせ

＜提出日＞ 4月30日（火） 1時間目が始まるまでにクラスでまとめておく。
※予備提出日 5月1日（水）
※二次検査日 5月15日（水）

■9時には検査業者が学校に回収に来ます。当日欠席等の理由で、保護者の方が届けてくださる場合も、時間にご注意ください。

＜配布物＞

- ・検査容器
- ・コップ
- ・容器を入れる紙袋
- ・名前シール



検査手順と注意



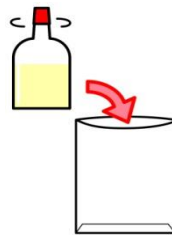
①朝一番の尿を採尿します。



②はじめの尿は少し捨て、中間の尿を紙コップにとります。（尿道にたまっている尿をだすため）



③容器の線のところまで尿を入れ、ふたをしっかりと閉めます。



④氏名ラベルを貼った袋に、採尿した容器を入れて、袋の口を2回折ります。このとき、テープやのりでとめないでください。



⑤学校に持ってきたらすぐに、提出し、名簿に○をつけてください。

●前日の寝る前、必ずトイレに行っておきましょう。

●前日の夜に、甘いジュースやビタミンの入ったジュースを飲み過ぎないようにしましょう。



●忘れない方法を工夫してください。



●提出するときには、自分が入れてきたビニール袋などからは、出して入れてください。





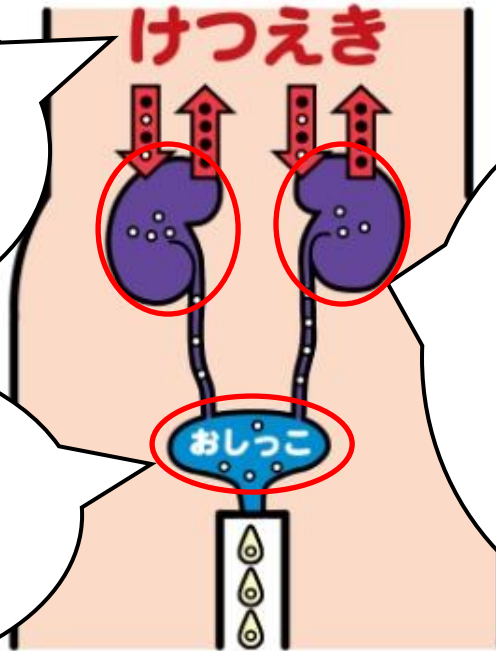
尿ができるまで

すべての血液がじん臓を通過し、不要な物質がこし出されます。つまり、尿は血液がもとになっていると言えます。

ぼうこう

じん臓から排出された不要な物質が尿として「ぼうこう」に貯められます。そして、体外へと排出されます。

けつえき



じん臓

人のからだには、2つのじん臓があります。じん臓では、血液からいらぬ成分をこします。からだにとって必要な物質は、からだに吸収します。老廃物や余分な塩分は、尿として体外に排出します。

なぜ尿検査を行うの？



尿は健康のバロメーター！！

尿検査では、尿の成分を調べることで、普段尿として排出されない物質が混じっていないかどうか調べます。そして、じん臓の異常がないかどうか検査することができます。また、糖尿病の可能性も発見することができます。以下の成分の値などを検査します。

タンパク

タンパク質は、通常では尿に排出されません。じん臓の病気がある場合に、尿にタンパクがでることがあります。ただし、健康であっても、運動や体の体勢・疲れによって、少量出ることもあります。

糖



糖は、通常ではじん臓で吸収され、尿には排出されません。しかし、糖尿病になると、じん臓で吸収しきれなくなった糖が、尿として排出されることがあります。また、食べ過ぎや食べたもの、体質的にでる場合もあります。

潜血



尿の中に、赤血球が混ざることです。腎炎・腎結石・尿管結石・ぼうこう炎・ガンなど異常がある場合があります。病気がなくても、体質的に陽性反応が出る人もいます。

じん臓の病気は、症状がでにくく、尿検査で発見されることが多いです。正しく容器にとり、提出日にきちんと提出しましょう。

